



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年1月31日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社メイテック
コード番号 9744 URL <http://www.meitec.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 國分 秀世
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 上村 正人 TEL 03-5413-0131
四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	66,817	3.8	8,150	5.1	8,155	5.5	5,596	△4.2
28年3月期第3四半期	64,399	7.1	7,758	16.0	7,733	15.2	5,840	176.4

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 5,796百万円 (△3.6%) 28年3月期第3四半期 6,010百万円 (166.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	192.52	—
28年3月期第3四半期	193.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	61,328	36,304	59.2
28年3月期	64,468	37,605	58.2

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 36,304百万円 28年3月期 37,543百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	63.00	—	81.00	144.00
29年3月期	—	68.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	71.50	139.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,800	3.3	10,700	△1.6	10,700	△1.3	7,600	△6.0	262.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 -社 (社名) 除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年3月期3Q	31,300,000株	28年3月期	31,300,000株
29年3月期3Q	2,646,164株	28年3月期	1,936,687株
29年3月期3Q	29,069,020株	28年3月期3Q	30,212,893株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

〔表1〕連結経営成績の概要

(百万円未満切捨て)	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比増減額	前年同期比増減率
売上高	64,399	66,817	+2,417	+3.8%
売上原価	47,578	49,481	+1,903	+4.0%
販売費及び一般管理費	9,063	9,185	+122	+1.3%
営業利益	7,758	8,150	+392	+5.1%
経常利益	7,733	8,155	+421	+5.5%
税金等調整前四半期純利益	8,773	8,182	△591	△6.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,840	5,596	△244	△4.2%

① 連結の経営成績

当第3四半期連結累計期間(9ヶ月間:平成28年4月1日~平成28年12月31日)におけるわが国経済は、新興国の一部に弱さが残るものの海外経済の安定成長が持続しており、緩やかな回復基調が続いています。

かかる状況下、当社の主要顧客である大手製造業各社では、景況に左右されることなく次代を見据えた技術開発投資を持続されていることから、堅調な受注環境の下、稼働人員数は順調に増加しました。

その結果、連結売上高は、前年同期比24億17百万円(3.8%)増収の66億817百万円となりました。連結売上原価は、エンジニア社員数の増員による労務費の増加等を主因に前年同期比19億3百万円(4.0%)増加の49億481百万円、連結販売費及び一般管理費は、前年同期比1億22百万円(1.3%)増加の9億185百万円となりました。連結営業利益は、前年同期比3億92百万円(5.1%)増益の8億150百万円、連結経常利益は、前年同期比4億21百万円(5.5%)増益の8億155百万円となりました。

また、前第2四半期連結累計期間で研修施設等の売却により、約10億円の特別利益を計上したため、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比2億44万円(4.2%)減益の5億596百万円となりました。

② 事業セグメント別の経営成績

〔表2〕事業セグメント別経営成績の概要

(百万円未満切捨て)	グループ 連結	派遣事業	紹介事業	エンジニアリング ソリューション事業	連結消去
売上高	66,817	64,743	1,217	985	△129
構成比	100.0%	96.9%	1.8%	1.5%	△0.2%
前年同期比増減額	+2,417	+2,543	+136	△307	+45
前年同期比増減率	+3.8%	+4.1%	+12.6%	△23.8%	—
営業利益	8,150	7,790	407	△47	—
構成比	100.0%	95.6%	5.0%	△0.6%	—
前年同期比増減額	+392	+389	+81	△79	0
前年同期比増減率	+5.1%	+5.3%	+25.2%	—	—

〔表3〕メイテックグループのエンジニア派遣事業の概要

		前第3四半期累計期間 ／会計期間末	当第3四半期累計期間 ／会計期間末
MT*1+MF*2	期末エンジニア社員数*	8,322人	8,674人
	稼働率(全体)	96.4%	96.0%
	稼働率(新入社員等を除く)	98.3%	98.1%
MT*1	期末エンジニア社員数*	6,544人	6,695人
	期末社内派遣従事者数(外数)*	33人	39人
	稼働率(全体)	96.7%	96.1%
	稼働率(新入社員等を除く)	98.2%	97.9%
	稼働時間	8.81h/day	8.77h/day
MF*2	期末エンジニア社員数	1,778人	1,979人
	稼働率(全体)	95.5%	95.6%
	稼働率(新入社員等を除く)	98.8%	98.8%
	稼働時間	8.92h/day	8.90h/day

*1:メイテック、*2:メイテックフィルダーズ

〔表3〕の注記

※:メイテックのエンジニア社員数は、未稼働エンジニア社員の社内研修講師等の社内技術業務に従事している社内派遣従事者を、間接人員として控除しています

ご参考:月次の稼働率実績等は、次のURLからご覧頂けます

(当社HP) http://www.meitec.co.jp/ir/financial_performance.html

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(ア) 派遣事業

連結売上高の9割超を占める派遣事業、特に中核事業のエンジニア派遣事業においては、稼働人員数の増加を主因に、売上高は、前年同期比25億43百万円(4.1%)増収の647億43百万円、営業利益は前年同期比3億89百万円(5.3%)増益の77億90百万円となりました。

当社単体の稼働率(全体)は、96.1%(前年同期96.7%)と、前年同期比で減少しましたが、この主因は、今年4月に入社した338名の新卒エンジニア社員の配属業務を厳選したこと、また、エンジニア社員のキャリアアップを狙い、戦略的にお客さまや業務をローテーションさせているためです。

なお、上半期から継続して受注環境は堅調でしたが、稼働時間は、一部顧客における時間外労働の減少等を要因として、8.77h/day(前年同期8.81h/day)と低下しました。

(イ) 紹介事業

紹介事業は、エンジニアに特化した職業紹介事業及び情報ポータルサイト事業を行っています。

紹介事業の売上高は、前年同期比1億36百万円(12.6%)増収の12億17百万円、営業利益は前年同期比81百万円(25.2%)増益の4億7百万円となりました。

メイテックネクストは紹介決定数の増加により、増収増益となりました。

なお、グループ戦略見直しの一環として、明達科(中国・上海)は1月以降の新たな人材紹介サービスの提供を終了しました。

(ウ) エンジニアリングソリューション事業

エンジニアリングソリューション事業は、プリント基板事業等の技術支援事業を行っています。

エンジニアリングソリューション事業の売上高は、前年同期比3億7百万円(23.8%)減収の9億85百万円、営業損失は47百万円(前年同期は営業利益32百万円)となりました。

なお、グループ戦略見直しの一環として、当社保有のアポロ技研株式会社の全株式を平成28年12月26日に譲渡しました。

〔表4〕グループ各社別経営成績の概要

(百万円未満切捨て)	派遣事業				紹介事業			エンジニアリングソリューション事業
	メイテック	メイテック フィルダーズ	メイテック キャスト	メイテック E X	メイテック ネクスト	all engineer.jp	メイテック 上海 他	アポロ技研
売上高	51,813	11,022	2,038	70	1,098	91	45	985
前年同期比増減額	+1,205	+1,209	+84	+21	+149	△9	△4	△307
前年同期比増減率	+2.4%	+12.3%	+4.3%	+44.8%	+15.8%	△9.5%	△9.8%	△23.8%
営業利益	6,674	1,041	82	△20	393	24	△10	△47
前年同期比増減額	+216	+151	+21	+0	+98	△16	+14	△78
前年同期比増減率	+3.4%	+17.1%	+34.8%	-	+33.5%	△40.4%	-	-
経常利益	7,259	1,040	82	△20	394	24	△9	△47
前年同期比増減額	+333	+150	+21	+0	+98	△16	+20	△80
前年同期比増減率	+4.8%	+16.9%	+35.4%	-	+33.5%	△40.0%	-	-
四半期純利益	5,153	798	61	△20	269	19	△9	△14
前年同期比増減額	△339	+228	+23	+0	+72	△16	+20	△35
前年同期比増減率	△6.2%	+40.0%	+61.5%	-	+36.7%	△46.4%	-	-

(2) 財政状態に関する説明

〔表5〕連結財政状態の概要

(百万円未満切捨て)	前連結会計年度末	当第3四半期 連結会計期間末	増減	
			増減額	増減率
流動資産合計	53,104	49,917	△3,187	△6.0%
固定資産合計	11,363	11,411	+47	+0.4%
資産合計	64,468	61,328	△3,139	△4.9%
流動負債合計	13,650	11,295	△2,354	△17.2%
固定負債合計	13,212	13,728	+516	+3.9%
負債合計	26,862	25,024	△1,838	△6.8%
株主資本合計	39,973	38,531	△1,441	△3.6%
その他の包括利益累計額	△2,429	△2,227	+202	-
非支配株主持分	61	-	△61	△100.0%
純資産合計	37,605	36,304	△1,301	△3.5%
負債純資産合計	64,468	61,328	△3,139	△4.9%

① 資産の状況

当第3四半期連結会計期間末(平成28年12月31日)の資産合計は、前連結会計年度末(平成28年3月31日)比で31億39百万円減少し、613億28百万円となりました。これは、流動資産が前連結会計年度末比で31億87百万円減少した事が要因です。

なお、流動資産の減少は現金及び預金の減少などが主因です。

② 負債の状況

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末比で18億38百万円減少し、250億24百万円となりました。これは、流動負債が前連結会計年度末比で23億54百万円減少した事が要因です。

なお、流動負債の減少は賞与の支払による賞与引当金の減少などが主因です。

③ 純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末比で13億1百万円減少し、363億4百万円となりました。これは、当期の経営成績の結果による親会社株主に帰属する四半期純利益の獲得に、配当金の支払及び自己株式の取得の影響が相殺された事などが主因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

① 業績予想

当第3四半期連結累計期間の経営成績は概ね計画通りに進捗しているため、業績予想は修正しません。

なお、現時点の業績予想の詳細につきましては、平成28年11月8日公表の平成29年3月期第2四半期決算短信並びに弊社ウェブサイトに掲載しておりますIR説明会資料などをご参照ください。

② 配当予想

上記のとおり、業績予想を修正しないため、期末配当の予想は修正しません。

なお、利益配分に関する基本方針につきましては、平成28年5月10日公表の平成28年3月期決算短信並びに弊社ウェブサイトに掲載しているIR説明会資料などをご参照下さい。

ご注意 本資料に記載した業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、既に公表している有価証券報告書等で記載した「事業等のリスク」に係る事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,413,980	33,093,948
受取手形及び売掛金	13,823,668	12,217,101
仕掛品	253,121	426,212
その他	3,614,737	4,180,880
貸倒引当金	△659	△381
流動資産合計	53,104,848	49,917,760
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,932,414	3,888,826
その他(純額)	1,788,801	1,731,613
有形固定資産合計	5,721,215	5,620,439
無形固定資産		
その他	744,873	1,031,899
無形固定資産合計	744,873	1,031,899
投資その他の資産		
その他	4,923,425	4,782,448
貸倒引当金	△26,116	△23,597
投資その他の資産合計	4,897,309	4,758,850
固定資産合計	11,363,398	11,411,189
資産合計	64,468,247	61,328,950
負債の部		
流動負債		
買掛金	236,270	—
未払法人税等	1,262,313	1,344,223
役員賞与引当金	168,466	140,736
賞与引当金	6,446,314	3,219,635
その他	5,536,938	6,591,263
流動負債合計	13,650,303	11,295,858
固定負債		
退職給付に係る負債	13,195,915	13,728,812
その他	16,603	—
固定負債合計	13,212,519	13,728,812
負債合計	26,862,822	25,024,671
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,825,881	5,000,000
資本剰余金	4,491,970	16,327,354
利益剰余金	24,645,186	25,894,950
自己株式	△5,989,693	△8,690,774
株主資本合計	39,973,345	38,531,530
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	△662,440	△662,440
為替換算調整勘定	8,833	1,538
退職給付に係る調整累計額	△1,776,060	△1,566,348
その他の包括利益累計額合計	△2,429,668	△2,227,251
非支配株主持分	61,747	—
純資産合計	37,605,424	36,304,279
負債純資産合計	64,468,247	61,328,950

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	64,399,570	66,817,508
売上原価	47,578,076	49,481,657
売上総利益	16,821,494	17,335,851
販売費及び一般管理費	9,063,461	9,185,519
営業利益	7,758,032	8,150,332
営業外収益		
受取利息	6,805	1,860
受取配当金	75	225
未払配当金除斥益	2,777	4,510
その他	10,829	10,081
営業外収益合計	20,486	16,677
営業外費用		
コミットメントフィー	2,691	2,228
支払手数料	1,749	7,278
租税公課	26,135	—
その他	13,957	1,617
営業外費用合計	44,533	11,124
経常利益	7,733,985	8,155,884
特別利益		
固定資産売却益	1,084,965	4
関係会社株式売却益	—	28,598
その他	—	2,733
特別利益合計	1,084,965	31,337
特別損失		
固定資産除却損	1,397	3,824
減損損失	25,655	1,067
その他	18,056	96
特別損失合計	45,109	4,989
税金等調整前四半期純利益	8,773,842	8,182,233
法人税等	2,929,174	2,588,108
四半期純利益	5,844,667	5,594,124
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	4,212	△2,245
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,840,454	5,596,370

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	5,844,667	5,594,124
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,520	△7,295
退職給付に係る調整額	167,046	209,712
その他の包括利益合計	165,525	202,417
四半期包括利益	6,010,192	5,796,542
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,005,946	5,798,787
非支配株主に係る四半期包括利益	4,246	△2,245

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

資本金及び資本剰余金の変動

当社は、平成28年6月23日開催の定時株主総会において、資本金及び資本準備金の額の減少を決議し、当第3四半期連結累計期間において次のとおり振替えております。

① 資本金の変動

資本金の減少額	11,825,881千円
---------	--------------

② 資本剰余金の変動

資本準備金の減少額	2,960,000千円
-----------	-------------

その他資本剰余金の増加額	14,785,881千円
--------------	--------------